

H2 1.7.6 設楽ダム魚類検討会 議事概要

日 時：平成21年7月6日（金） 9時00分～12時45分

議事概要：

表 H2 1.7.6 設楽ダム魚類検討会の議事概要(1)

議事項目	議事内容	委員の主な意見	意見に対する回答
1.魚類検討会の経緯について	<ul style="list-style-type: none"> 魚類検討会の経緯について再確認した。 前回検討会における委員の指摘とそれに対する対応方針について報告した。 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし
2.平成21年の野外実験について	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度の野外実験進捗（飼育改善試験結果）について報告した。 今年度の放流計画について協議した。 	<ul style="list-style-type: none"> 飼育改善試験の結果、循環式の水槽で鱭の十分な回復が認められた。 個体の鱭欠損が回復することは分かったが、何が原因かをはっきりさせた方が、今後の飼育施設設計の際に役立つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 事務局：回復条件としては、「循環式」「流水環境」「低密度」が候補と考えられる。 事務局：今後、有効な条件が統計的に明確になる飼育計画を立案し、秋までに最善の飼育方法を決定する。
		<ul style="list-style-type: none"> 今年度の放流は1歳魚のみか、当歳魚も放流するかどのように考えているか教えて欲しい。 当歳魚放流にはその根拠があるはずなので、その点を確認して両者の条件をなるべく満たす方向で検討すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 事務局：一歳魚放流が良いという感触を得ているが、当歳魚・一歳魚とも放流する予定である。
3.人工水路実験について	<ul style="list-style-type: none"> 繁殖場実験、隠れ家実験の解析結果について報告した。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験の中で「成熟個体」や「繁殖場」の定義を明確にし、実験で見ているものが何か分かるようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 事務局：実験条件の定義、繁殖場としての判断、行動の追跡手法など、次回実験に向けて検討する。
		<ul style="list-style-type: none"> 現在は「どこにいた」という記録を解析しているが、「そこで何をしていたか」という行動の記録も考慮すべきである。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 間隙の形状、断面積や流速との関係、野外での間隙測定方法との比較など、もう少し解析を行うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 事務局：ギギの利用と間隙の形状の関連については、今後も解析を進める。
4.支川のポテンシャルについて	<ul style="list-style-type: none"> 支川の生息ポテンシャル調査における課題（道路工事・河川工事）及び対応案について報告した。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在予定されている支川の護岸工事の際に、魚巣ブロック等の環境改善を実施してもらうことは可能か、道路事業者、河川管理者と協議すること。ある意味ではチャンスなので、積極的に提案すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 事務局：現在は、河川管理者と道路管理者にお知らせしてお願いしている段階である。今後調整していく。
5.平成21年度モニタリング計画	<ul style="list-style-type: none"> 今年度調査計画（案）及び春季調査速報を報告した。 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし
6.ダム工事進捗との関連について	<ul style="list-style-type: none"> ダム堤体周辺工事の対応として実施した春季魚類調査結果について報告した。 	<ul style="list-style-type: none"> 魚類調査で使用した漁具別の結果を提示すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 事務局：漁具別の調査結果を提示する。

表 H2 1.7.6 設楽ダム魚類検討会の議事概要(2)

議事項目	議事内容	委員の主な意見	意見に対する回答
7.豊川水系のネコギギの保全について	・豊川水系のネコギギ保全に対する取り組みの実施状況、達成度、今後の達成見込みを報告した。	・流域の保全として、支川の個体群を健全な個体群として保全する計画としているが、健全度の評価は妥当か。	・事務局：現状の分布範囲、いる淵・いない淵は把握している。その支流の個体群が、本当に健全（存続可能性がそれだけで十分ある）かについては、個体数のトレンドや局所個体群間の連携を含めて解析する。
		・系統保存の確立を重視しているが、系統保存に適する集団と、野外への再導入に適する集団は矛盾した性格であることを認識しておくこと。	・事務局：系統保存の取り組みに際しては留意する。
		・流域保全の考え方は良い取り組みなので積極的に取り組んで欲しい。 ・ただし、地域住民には温度差もあるので、ネコギギに限らず、淡水魚全般等対象を広げることも有効である。	・事務局：今後も積極的に取り組んでいく。
8.ネコギギ以外の魚類について	・ネコギギ以外の魚種への対応について協議した。	・支川等でもアユをはじめとした調査の実施を要望する。	・事務局：調査を実施する方向で検討する。